

2013年3月期 第2四半期 連結業績概要

2012年11月6日

太陽誘電株式会社

第2四半期 連結業績概要(前四半期比)

売上高は想定を下回り、営業利益が減少して増収減益に

(単位:百万円)	2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
売上高	46,533	48,909	2,376	5.1%
営業利益	1,108	348	△759	△68.5%
経常利益	262	△123	△385	—
当期純利益	△628	1	629	—

- 営業利益
- ・増益要因 販売数量の増加、生産性の改善、品種構成の改善
 - ・減益要因 固定費の増加、為替影響、単価ダウン、増産効果の縮小、海外生産移管に伴うロス、新商品の量産立ち上げによるロス

第2四半期 事業セグメント別業績(前四半期比)

電子部品事業は増収減益、記録製品その他事業は赤字縮小

(単位:百万円)		2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	電子部品	41,171	43,680	2,509	6.1%
	記録製品その他	5,362	5,229	△132	△2.5%
売上高 合計		46,533	48,909	2,376	5.1%
	電子部品	1,330	463	△867	△65.2%
	記録製品その他	△221	△114	107	—
セグメント利益 合計		1,108	348	△759	△68.5%

第2四半期 製品別売上高(前四半期比)

スマートフォン市場の拡大により、コンデンサは約10%増収

(単位:百万円)		2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	コンデンサ	19,833	21,737	1,903	9.6%
	フェライト及び応用製品	7,030	7,181	151	2.2%
	複合デバイス	13,287	13,520	233	1.8%
	その他電子部品	1,019	1,241	221	21.7%
	電子部品 計	41,171	43,680	2,509	6.1%
	記録製品	3,689	3,606	△83	△2.3%
	その他	1,672	1,623	△49	△2.9%
	記録製品その他 計	5,362	5,229	△132	△2.5%
	合計	46,533	48,909	2,376	5.1%

第2四半期 連結業績概要(前年同期比)

売上高は減少したが、構造改革に伴う固定費削減により収益性改善

(単位:百万円)	2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1～2011.9.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
売上高	50,088	48,909	△1,178	△2.4%
営業利益	△1,100	348	1,448	—
経常利益	△2,369	△123	2,246	—
当期純利益	△7,403	1	7,404	—

固定費削減策

希望退職者募集による人員削減
赤字商品の改善

第2四半期 事業セグメント別業績(前年同期比)

電子部品事業、記録製品その他事業とも、構造改革により収益性改善

(単位:百万円)		2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1～2011.9.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	電子部品	44,404	43,680	△724	△1.6%
	記録製品その他	5,683	5,229	△454	△8.0%
売上高 合計		50,088	48,909	△1,178	△2.4%
	電子部品	△465	463	928	—
	記録製品その他	△634	△114	520	—
セグメント利益 合計		△1,100	348	1,448	—

第2四半期 製品別売上高(前年同期比)

SAW/FBARデバイスの市場拡大と能力増強により、複合デバイスが増収

(単位:百万円)		2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1～2011.9.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	コンデンサ	22,493	21,737	△756	△3.4%
	フェライト及び応用製品	7,666	7,181	△484	△6.3%
	複合デバイス	13,087	13,520	433	3.3%
	その他電子部品	1,157	1,241	83	7.2%
	電子部品 計	44,404	43,680	△724	△1.6%
	記録製品	3,916	3,606	△310	△7.9%
	その他	1,767	1,623	△143	△8.1%
	記録製品その他 計	5,683	5,229	△454	△8.0%
	合計	50,088	48,909	△1,178	△2.4%

第2四半期 対米ドル為替レートと為替変動による影響

(単位:円)	2012年3月期 第2四半期 (2011.7.1～2011.9.30)	2013年3月期 第1四半期 (2012.4.1～2012.6.30)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)
期中平均レート	79.09	81.26	79.01
末日レート	76.65	79.28	77.57

前四半期比 2.25円の円高。売上高で△11億円、営業利益で△3億円の為替影響。

前年同期比 0.08円の円高。売上高で△1億円の為替影響。

営業利益に対する影響は、アジア通貨安に伴うコスト安により+2億円。

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

上期 連結業績概要(前年同期比)

売上高は減少したが、構造改革に伴う固定費削減により収益性改善

(単位:百万円)	2012年3月期 上期 (2011.4.1～2011.9.30)	2013年3月期 上期 (2012.4.1～2012.9.30)	増減額	増減率
売上高	97,124	95,442	△1,681	△1.7%
営業利益	△1,758	1,457	3,216	—
経常利益	△3,665	138	3,803	—
当期純利益	△9,111	△626	8,484	—

固定費削減策

希望退職者募集による人員削減
赤字商品の改善

上期 事業セグメント別業績(前年同期比)

電子部品事業、記録製品その他事業とも、構造改革により収益性改善

(単位:百万円)		2012年3月期 上期 (2011.4.1～2011.9.30)	2013年3月期 上期 (2012.4.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	電子部品	85,869	84,851	△1,017	△1.2%
	記録製品その他	11,254	10,591	△663	△5.9%
売上高 合計		97,124	95,442	△1,681	△1.7%
	電子部品	△901	1,793	2,695	—
	記録製品その他	△857	△336	520	—
セグメント利益 合計		△1,758	1,457	3,216	—

上期 製品別売上高(前年同期比)

SAW/FBARデバイスの市場拡大と能力増強により、複合デバイスが増収

(単位:百万円)		2012年3月期 上期 (2011.4.1～2011.9.30)	2013年3月期 上期 (2012.4.1～2012.9.30)	増減額	増減率
	コンデンサ	45,085	41,570	△3,515	△7.8%
	フェライト及び応用製品	15,018	14,212	△805	△5.4%
	複合デバイス	23,569	26,808	3,238	13.7%
	その他電子部品	2,195	2,260	64	2.9%
電子部品 計		85,869	84,851	△1,017	△1.2%
	記録製品	7,678	7,295	△383	△5.0%
	その他	3,575	3,296	△279	△7.8%
記録製品その他 計		11,254	10,591	△663	△5.9%
合計		97,124	95,442	△1,681	△1.7%

上期 対米ドル為替レートと為替変動による影響

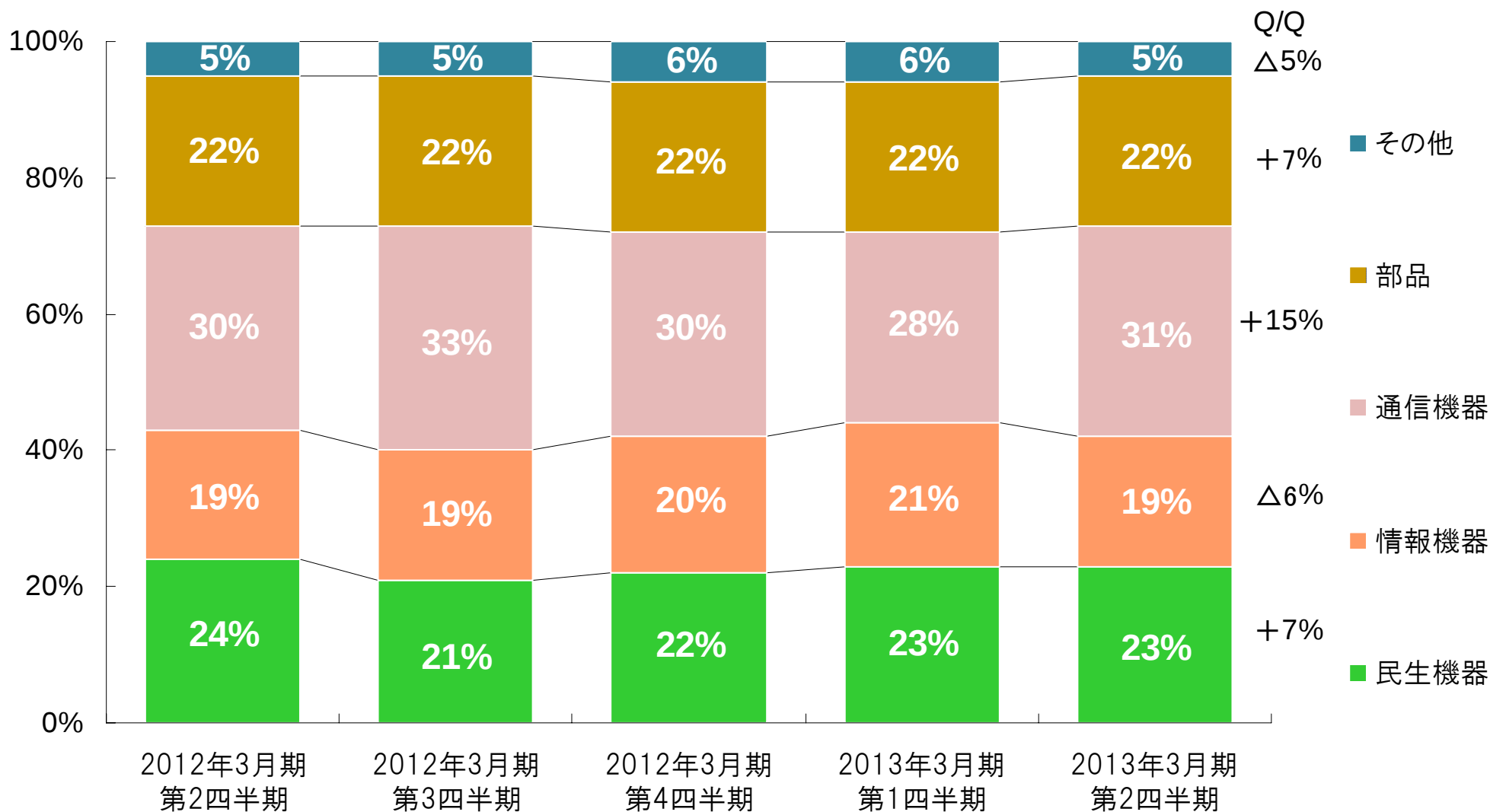
(単位:円)	2012年3月期 上期 (2011.4.1～2011.9.30)	2013年3月期 上期 (2012.4.1～2012.9.30)
期中平均レート	80.63	80.14
末日レート	76.65	77.57

前年同期比 0.49円の円高。売上高で△5億円の為替影響。
営業利益に対する影響は、アジア通貨安に伴うコスト安により+1億円。

※為替変動による影響額には、米ドル以外の通貨の影響も含まれます。

用途分野別売上構成

スマートフォン市場の拡大により、通信機器向けが30%超へ



主要数値

(単位:百万円)	2013年3月期 第2四半期 (2012.7.1～2012.9.30)	2013年3月期 上期 (2012.4.1～2012.9.30)	2013年3月期 通期見通し [2012.11.6発表] (2012.4.1～2013.3.31)	2013年3月期 通期見通しに 対する進捗率
研究開発費	1,670	3,293	7,000	47.0%
設備投資額	6,272	12,073	23,500	51.4%
減価償却費	4,753	9,300	20,000	46.5%
従業員数 (2012.9.30現在)	連結 16,411名 [+250名] 単体 2,635名 [+12名] ※[]内は2012.6.30比増減			

2013年3月期 連結業績予想の修正

通期 連結業績予想の修正

テレビやパソコン向けの需要低迷により、業績予想を下方修正

(単位:百万円)	2013年3月期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.4.1～2013.3.31)	2013年3月期 今回予想 [2012.11.6発表] (2012.4.1～2013.3.31)	増減額	増減率
売上高	210,000	195,000	△15,000	△7.1%
営業利益	10,000	5,000	△5,000	△50.0%
経常利益	9,000	3,000	△6,000	△66.7%
当期純利益	5,500	0	△5,500	—
研究開発費	8,000	7,000	△1,000	△12.5%
設備投資額	18,500	23,500	5,000	27.0%
減価償却費	20,000	20,000	0	—

為替レート 下期の期中平均為替レートは1米ドル79円を想定。

通期 製品別売上高予想の修正

コンデンサ、フェライト及び応用製品、複合デバイスを下方修正

(単位:百万円)		2013年3月期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.4.1～2013.3.31)	2013年3月期 今回予想 [2012.11.6発表] (2012.4.1～2013.3.31)	増減額	増減率
	コンデンサ	93,000	87,000	△6,000	△6.5%
	フェライト及び応用製品	32,000	28,500	△3,500	△10.9%
	複合デバイス	57,000	52,500	△4,500	△7.9%
	その他電子部品	5,000	5,000	0	—
電子部品 計		187,000	173,000	△14,000	△7.5%
	記録製品	15,000	15,000	0	—
	その他	8,000	7,000	△1,000	△12.5%
記録製品その他 計		23,000	22,000	△1,000	△4.3%
合計		210,000	195,000	△15,000	△7.1%

半期 連結業績予想の修正

(単位:百万円)	2013年3月期 上期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.4.1～2012.9.30)	2013年3月期 下期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.10.1～2013.3.31)	2013年3月期 上期 実績 (2012.4.1～2012.9.30)	2013年3月期 下期 今回予想 [2012.11.6発表] (2012.10.1～2013.3.31)
売上高	100,000	110,000	95,442	99,558
営業利益	3,500	6,500	1,457	3,543
経常利益	3,000	6,000	138	2,862
当期純利益	1,600	3,900	△626	626
研究開発費	4,000	4,000	3,293	3,707
設備投資額	11,000	7,500	12,073	11,427
減価償却費	9,500	10,500	9,300	10,700

半期 製品別売上高予想の修正

(単位:百万円)		2013年3月期 上期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.4.1～2012.9.30)	2013年3月期 下期 前回予想 [2012.5.14発表] (2012.10.1～2013.3.31)	2013年3月期 上期 実績 (2012.4.1～2012.9.30)	2013年3月期 下期 今回予想 [2012.11.6発表] (2012.10.1～2013.3.31)
	コンデンサ	44,500	48,500	41,570	45,430
	フェライト及び応用製品	15,300	16,700	14,212	14,288
	複合デバイス	27,000	30,000	26,808	25,692
	その他電子部品	2,350	2,650	2,260	2,740
電子部品 計		89,150	97,850	84,851	88,149
	記録製品	7,200	7,800	7,295	7,705
	その他	3,650	4,350	3,296	3,704
記録製品その他 計		10,850	12,150	10,591	11,409
合計		100,000	110,000	95,442	99,558

当資料に記載されている、当社(太陽誘電株式会社、および当社グループ)に関する計画、業績見通し、戦略、確信等のうち、将来の記述をはじめとする歴史的事実ではないものは、すべて現在、当社が入手している情報に基づいて行った予測、想定、認識等を基礎として記載しているものであり、その性質上、客観的に正確であるという保証、ならびに将来その通りに実現するという保証はありません。実際の業績は、数々の要素により、現状の見通し等とは大きく異なる結果となりえ、かつ、当社が事業活動の中心とするエレクトロニクス市場は変動性が激しいことから、当資料に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

TAIYO YUDEN